



武蔵野市 文化に関する市民アンケート調査 概要版



武蔵野市

調査について

武蔵野市民の現状把握

この調査レポートは、武蔵野市が平成28年度に実施した「文化に関する市民アンケート調査」の結果の一部を紹介するものです。

武蔵野市では、市が今後文化振興に取り組むにあたっての基本方針を検討しています。「文化に関する市民アンケート」は、その検討にあたり、市民のみなさまがどのような文化的な体験や活動をしているのか、武蔵野市というまちや市の文化施設に対してどのようなイメージやニーズを持っているのかを把握することを目的として実施しました。

武蔵野市において文化を愉しみ、かつ文化を創出する立場である市民のみなさまの声を聞き、武蔵野市ならではの文化を市民のみなさまと共につくっていくための方針を打ち出そうと検討を重ねていきます。

■調査概要

名称：文化に関する市民アンケート調査

期間：平成28年11月24日～12月12日

対象：18歳以上の武蔵野市民

方法：郵送調査

配布数：2,000件

回答率：37.9%（回答数758件）

周辺自治体との比較

武蔵野市民との比較対象として、武蔵野市周辺自治体の住民の文化的な体験や活動等を把握するため、設問が共通する調査も実施しました。

■調査概要

期間：平成28年12月1日～12月5日

対象：杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、国分寺市、
国立市、西東京市に住む16歳以上の人

方法：ウェブモニター調査

回収数：824件

文化的な体験や活動に関心を持っている人

81.7%
(758人中)

- 文化に対して関心を持っている人は8割を上回っており、性別や年代、収入状況にかかわらず多くの人が関心を持っています。
- 関心を持っている人は、「好きだから」というシンプルな理由のほか、自身の創作活動との関係や、心や感性の豊かさ、暮らしの豊かさなどにつながることを理由に挙げています。

※上記の81.7%は、「あなたは、芸術の鑑賞や創作などの文化的な体験や活動に関心を持っていますか。」という設問に回答した758人のうち、「関心がある」「どちらかというと関心がある」を選択した人の割合です。

過去1年間で文化的な催し等を鑑賞した人

83.4%
(758人中)

現在、文化的な活動を行っている人

31.4%
(758人中)

- 現在、何らかの文化的な活動をしている人は3割程度です。周辺自治体調査では2割強です。
- 過去に活動していたが、今はやっていない人は2割程度おり、合計すると約半数の人が何らかの文化的な活動をしたことがあります。周辺自治体調査では4割弱となっています。
- アーティストや作家、クリエイティブ業、教室の指導者など、プロとして文化的な活動をしている人は、活動している人の2割半ばです。そのうちアーティスト・作家は約1割です。
- 活動したことがない人は、その理由として、時間的な制約、鑑賞で十分だと思っている、気軽にやってみる機会がないなどの回答が多くなっています。

※左記の31.4%は、「あなたは、創作や公演・イベント等に関する文化的な活動を行っていますか。行っているものをすべて選択してください。(複数回答)」という設問に回答した758人のうち、文芸、音楽の演奏・制作、美術の制作等の具体的な活動内容を1つでも選択した人の割合です。

- 過去1年間に何らかの文化的な催しや物事を鑑賞した人は8割強です。周辺自治体調査では7割強です。
- 鑑賞した分野では、美術、デザインや映画、音楽が多くなっており、いずれも半数の人が鑑賞しています。
- 鑑賞状況は、若い世代の女性が多く鑑賞していますが、未就学児のいる世帯の人は鑑賞意向を持ちながらも鑑賞できなかった人が多くなっています。
- 鑑賞したいが、できなかった人は1割未満です。鑑賞できるようにするための条件として、身近な場所で催しが行われること、手ごろな価格で鑑賞ができること、子どもと一緒に鑑賞することができることを挙げている人が多くなっています。
- 鑑賞しなかった人も1割未満ですが、関心をひく催しが行われないという理由のほか、文化以外のことに時間を使っている人も多くなっています。

※左記の83.4%は、「あなたは、過去1年間で文化的な催しや物事を鑑賞しましたか。鑑賞した分野をすべて選択してください。(複数回答)」という設問に回答した758人のうち、音楽や美術、映画等の具体的な分野を1つでも選択した人の割合です。

文化的な習い事や鑑賞・体験創作活動をしている子ども

82.4%
(216人中)

- 8割強の子どもが美術や音楽などの習い事や創作活動、コンサートや映画等の鑑賞・体験活動をしています。世帯年収による大きな違いは見られません。
- 何らかの習い事をしている子どもは4割強、創作活動をしている子どもは3割強、過去1年間に鑑賞・体験をしたことのある子どもは7割程度です。

※上記の82.4%は、「あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間で文化的な催しや物事の鑑賞や体験、または文化的な活動をしましたか。」という設問に回答した18歳未満の子どもをもつ216人のうち、何らかの習い事、鑑賞・体験、創作活動にあたる選択肢を1つでも選択した人の割合です。

文化施設等を利用したことがある人の割合 (758人中)

武蔵野市民文化会館

66.4%

- 年齢にかかわらず利用されており、10～20歳代でも5割以上の人が利用したことがあります。
- 文化に関心のない人や鑑賞、文化的な活動をしていない人も5割以上が利用したことがあります。

武蔵野公会堂

48.0%

- 60歳以上では利用している人が5割を上回りますが、10～20歳代の男性は他世代と比べて少なくなっています。
- 「施設を知らない」から利用しない人は全体で1割半ばですが、うち10～20歳代の男性では4割強となっています。

武蔵野芸能劇場

19.3%

- 60歳以上では2～3割の人が利用したことがありますが、10～20歳代では1割未満となっています。
- 利用しない理由では、「利用する必要・機会がない」が4割半ばで、施設のなかでも多くなっています。

武蔵野スイングホール

44.5%

- 60歳以上になると5～6割の人が利用したことがありますが、10～20歳代では2割半ばとなっています。
- 年齢が低くなるほど、「施設を知らない」が利用しない理由として増えます。

吉祥寺シアター

20.3%

- 利用しない理由としては「施設を知らない」が2割半ばとなっています。
- 一方、「利用する必要・機会がない」という理由は4割半ばで、施設のなかでも多くなっています。

吉祥寺美術館

35.9%

- 60歳以上での利用が多くなっていますが、10～20歳代の女性と30～50歳代の男性は他の世代に比べて少なくなっています。
- 文化に関心のない人は、8割以上の人が利用したことがありません。

松露庵

5.0%

- 文化の鑑賞や活動の状況、年齢にかかわらず、利用したことがある人は1割未満となっています。
- 「施設を知らない」から利用しない人が5割弱、「利用する必要・機会がない」という理由も4割半ばとなっています。

中央図書館

63.2%

- 世代や居住地区にかかわらず、「施設を知らない」から利用したことがない人は1割未満となっています。
- 中央地区に住んでいる人の利用が、吉祥寺地区や武蔵境地区に住んでいる人よりも多くなっています。

吉祥寺図書館

51.2%

- 世代や居住地区にかかわらず、「施設を知らない」から利用したことがない人は1割未満となっています。
- 吉祥寺地区に住んでいる人の利用が、中央地区や武蔵境地区に住んでいる人よりも多くなっています。

武蔵野プレイス

54.9%

- 他の施設に比べて、若い世代での利用も多く、世代にかかわらず利用されています。
- 武蔵境地区においては8割を上回る人が利用したことがあります。

[illegible]

37.5%

- 9.9%

- 7.5%

- 60.9%

- 63.9%

- ※各施設ごとに、「利用したことがない」と回答した人に対して、その理由について尋ねました。「施設の存在やサービスを知らない」「施設、サービス、時間、料金等に不満がある」「他の自治体や国・都の施設を利用している」「民間の類似施設を利用している」「利用する必要・機会がない」のなかから2つ選択してもらいました。

武蔵野市のイメージ

1位 身近に自然を感じられるまち

2位 様々な食を楽しめるまち

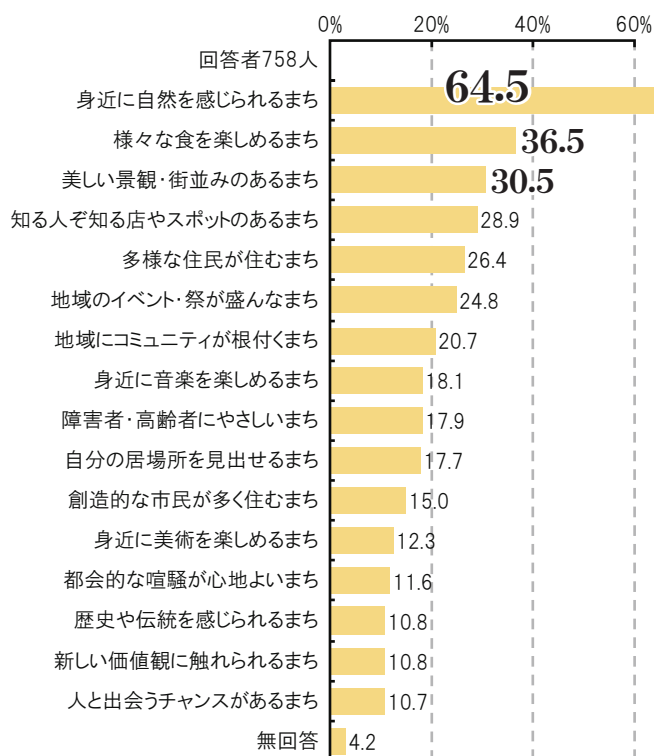
3位 美しい景観・街並みのあるまち

■身近に自然を感じられるまちというイメージが特に多く、景観・街並みの美しさも3位となっており、自然や景観に対してよいイメージが持たれていることが分かります。

■そのほか、2位の様々な食を楽しめることにくわえ、知る人ぞ知るスポットや自分の居場所があるなど、商業的なイメージが多くなっています。その一方で、美術や音楽を楽しめるというイメージは多くありません。

■武蔵野市の文化的な魅力(場所・イベント・人物等)を尋ねる自由記述式の質問では、特に井の頭恩賜公園が多く挙げられています。公園や並木道なども多々挙げられており、まちのイメージとも通じる結果となっています。

■また、吉祥寺を中心とする民間の文化拠点も多く挙げられているほか、人物についても市内在住の文化人が多数挙げられている点が特徴と言えます。



※上記は「あなたは、武蔵野市に住んでいて、次の選択肢のうち、市のイメージとして実感することはありますか。(複数回答)」という設問の回答結果です。

武蔵野市が文化的なまちであるために必要なこと

1位 美術や音楽を身近に鑑賞・活動できる場所があること

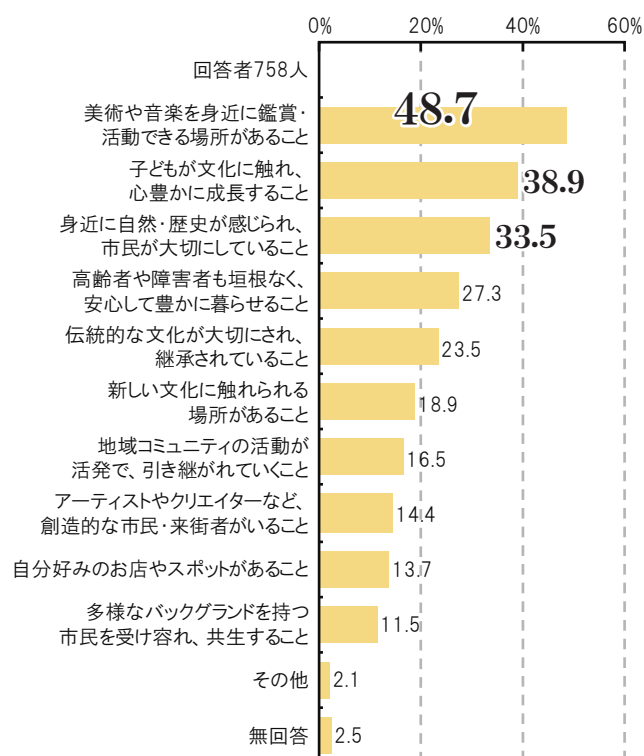
2位 子どもが文化に触れ、心豊かに成長すること

3位 身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしていること

■文化的なまちであるために必要なこととしては、美術や音楽を身近に楽しむことができることが多く挙げられているほか、特に子どもが文化に触れることが大切だと感じられています。

■身近に音楽や美術を楽しめるまちというイメージが薄い一方で、文化的なまちであるためには音楽や美術が身近であることが求められており、実際のイメージとニーズのあいだに隔たりがあることが分かります。

■まちのイメージや文化的な魅力として挙げられていた商業的な側面や文化人が多く住んでいることよりも、文化的なまちであるためには、大人も子どもも、鑑賞や活動ができる機会があることが必要だと考えられています。



※上記は「あなたは、武蔵野市が文化的なまちであるためには、どのようなまちであることが必要だと思いますか。(複数回答、3つまで選択可能)」という設問の回答結果です。

文化的なまちであるために市の文化施設が行うとよい事業

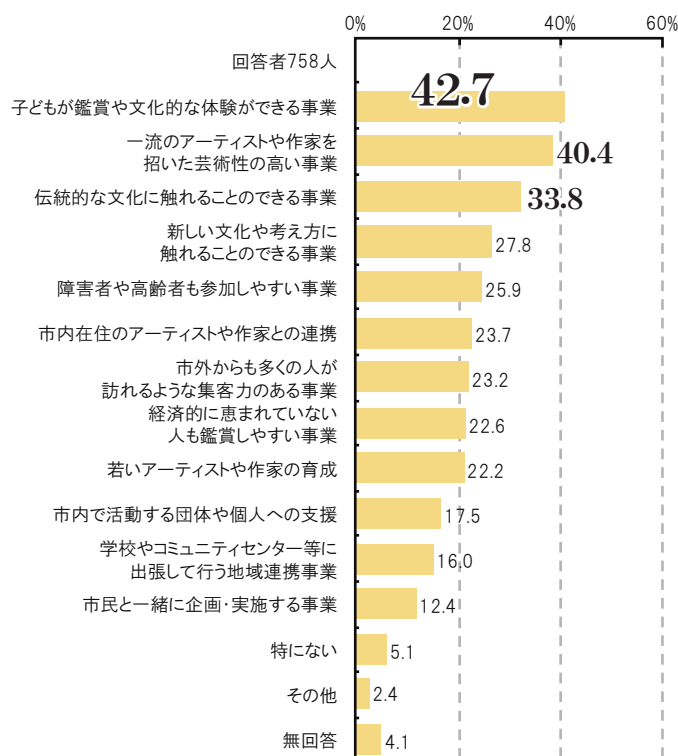
1位 子どもが鑑賞や文化的な体験ができる事業

2位 一流のアーティストや作家を招いた芸術性の高い事業

3位 伝統的な文化に触れることのできる事業

■文化的なまちであるために、市の文化施設では、子どもが鑑賞・体験できる事業や芸術性の高い事業に対する期待が多くなっています。

■子どものいる世帯の人では、子どものいない人に比べて、子どもの鑑賞・体験に対する期待が多くなっています。一方、60歳以上の人では障害者や高齢者も参加しやすい事業に対する期待が多くなります。



※上記は「あなたが、武蔵野市が文化的なまちであるために市の文化施設で行ってほしいと思う事業は何ですか。（複数回答）」という設問の回答結果です。

武蔵野市にあったらよいと思う施設

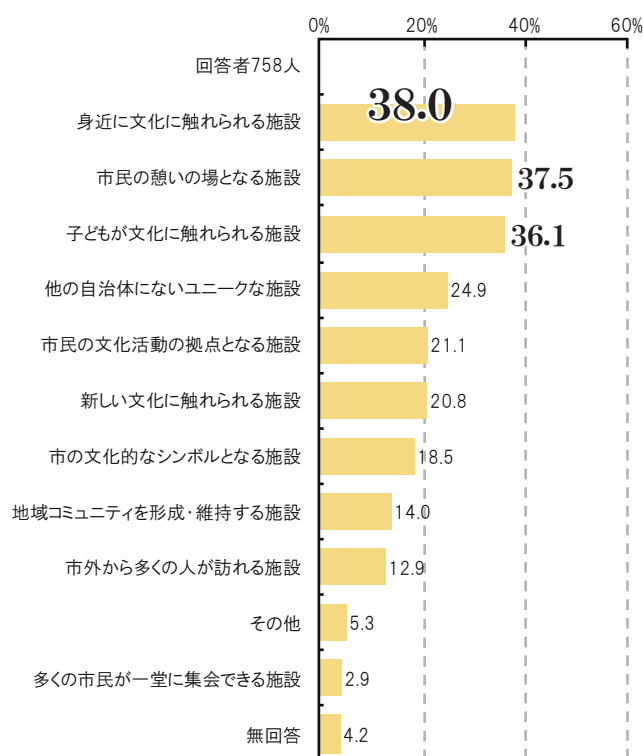
1位 身近に文化に触れられる施設

2位 市民の憩いの場となる施設

3位 子どもが文化に触れられる施設

■武蔵野市にあったらよいと思う施設としては、自身や子どもが文化に触れられる施設のほか、市民の憩いの場となる施設が多く求められています。

■特に過去1年間で鑑賞した人や鑑賞したいと思う人、また文化的な活動をしている人においては、特に身近に文化に触れられる施設が求められています。一方、そうでない人は市民の憩いの場となる施設の方を求めています。



※上記は「あなたは、武蔵野市に、どのような特徴を持った施設があると思いますか。（複数回答、3つまで選択可能）」という設問の回答結果です。

文化的なまちであるために市民が行うとよいこと

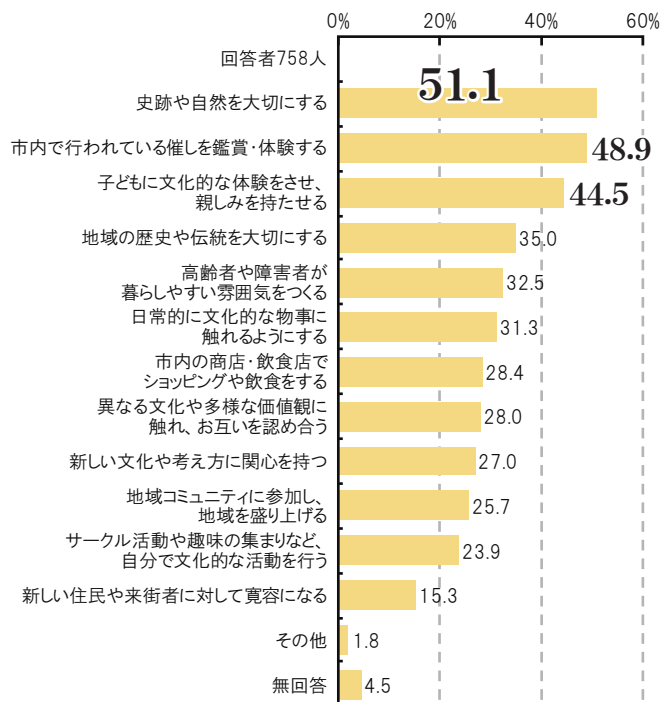
1位 史跡や自然を大切にする

2位 市内で行われている催しを鑑賞・体験する

3位 子どもに文化的な体験をさせ、親しみを持たせる

■市民が行うとよいこととしては、史跡や自然を大切にする、自身や子どもが鑑賞・体験をすることが多くなっています。文化的なまちであるための要素や市の文化施設での事業に対するニーズと整合します。

■子どものいる世帯の人では、そうでない人に比べて子どもの文化的な体験に関する回答が多くなっています。また、60歳以上の人では高齢者や障害者が暮らしやすい雰囲気をつくることが求められています。



※上記は「一般的に考えて、武蔵野市が文化的なまちであるために市民が行うとよいと思うことは何ですか。(複数回答)」という設問の回答結果です。

文化的なまちであるために行政が行うとよいこと

1位 子どもが文化的な体験・活動ができる事業を行う

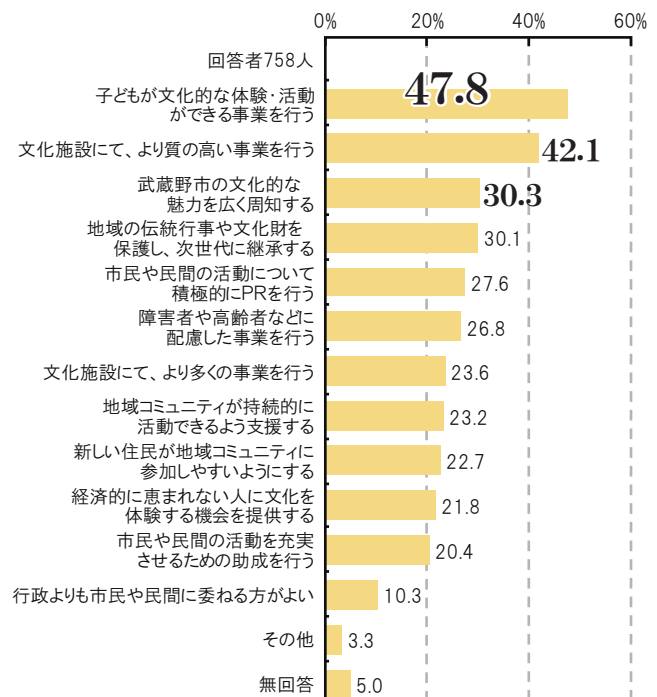
2位 文化施設にて、より質の高い事業を行う

3位 武蔵野市の文化的な魅力を広く周知する

■行政が行うとよいこととしては、子どもの文化的な体験・活動のほか、質の高い事業へのニーズが高くなっています。事業数よりも質を求める回答の方が多くなっています。

■子どものいる世帯の人では、そうでない人に比べて子どもの文化的な体験・活動に関する回答が多くなっています。また、60歳以上の人では高齢者や障害者も参加しやすいことが求められています。

■子どもの文化的な体験・活動については、市民においても、行政においても取り組むとよいこととして、共通して挙げられていることが特徴です。



※左記は「あなたが、武蔵野市が文化的なまちであるために行政が行うとよいと思うことは何ですか。(複数回答)」という設問の回答結果です。